

古文書を読む会学習記録

作成日 平成28年 5月13日

開催日	平成28年 5月12日	時 間	10:00～12:00
場 所	新棟リハーサル室	出席人数	10名
講 師	真田 雅行氏	作成者	鈴木 浩士
テーマ	第一学習 赤井村石井家文書 ⑤		
概要	<p>寛政二年(1790年)、赤井村の名主である石井家の「御用留帳」と文化七年(1810年)、赤井村の当役太郎左衛門が書き留めた「御用富(留)置帳」を学習。</p> <p>石井家の「御用留帳」(前回からの続き)</p> <ul style="list-style-type: none">○ 南鐐二朱銀の流通に関する公儀からのお達し。○ 羽州山形で親に手疵を負わせて逃げている男の人相書き(手配書)。 内容は ・年齢 ・生国と名前 ・身体的特徴 ・逃げた時の衣類 ・持参している脇差の形状、拵え等細かく記述。犯人を見つけたら代官、地頭に報告せよ。○ この年の年貢を村毎に決め、その内訳を細かく記録。 寺前村 米 101俵1升4合 赤井村 米 266俵2斗9升9合 宿村 米 261俵2斗9升3合 <p>太郎左衛門の「御用富(留)帳」</p> <ul style="list-style-type: none">○ 殿様が新たにお役を授けられた。お祝いの相談をするので平兵衛方へ袴着用の上集まること。○ 2月に土井大炊守様から渡された書付の写し。 去る卯年(3年前)女を連れて関所破りをした男の人相書き。前出の山形の場合と記述項目は同じ。○ 2月に青山下野守様から渡された書付の写し。 去る巳年(1年前)志州(志摩)英虞郡で継母を打擲して逃げた藤三郎の人相書き。こちらも山形の例と同様に記述。		
次回予定	平成28年5月26日 10:00～12:00	於:新棟リハーサル室	第二学習 奥の細道⑤